

市税の状況

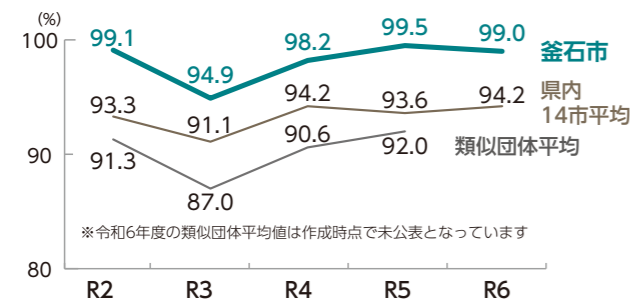
項目	令和6年度		前年度比較	
	収入済額	徴収率	収入済額	徴収率
市税(一般会計)	44億4,601万円	97.1%	2億183万円 減	-0.1ポイント
市民税	18億8,486万円	98.2%	1億7,675万円 減	0.0ポイント
固定資産税	22億721万円	95.8%	1,606万円 減	-0.3ポイント
軽自動車税	1億418万円	97.1%	134万円 増	-0.1ポイント
市たばこ税	2億4,975万円	100.0%	1,036万円 減	0.0ポイント
国民健康保険税	4億5,783万円	88.0%	1,388万円 減	-0.8ポイント

市債現在高

会計区分	金額
一般会計	188億4,891万円
水道事業会計	13億322万円
公共下水道事業会計	48億3,444万円
漁業集落排水事業会計	2億6,523万円
合計	252億5,179万円

前年度から約7億4,100万円増加

経常収支比率



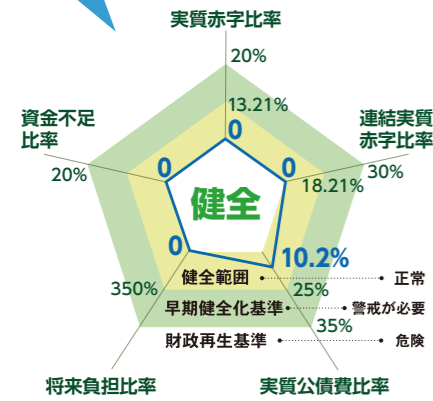
市税などの経常的に収入される一般財源が人件費や扶助費、公債費などの経常的経費にどのくらい充当されたかを示す経常収支比率は、令和5年度の99.5%から0.5ポイント改善し、令和6年度は99.0%となりました。

これは物価高騰の影響などにより物件費や扶助費をはじめ経常経費充当一般財源が前年度から約1億1,200万円増加した一方、国税の増収に伴い、普通交付税が増額交付されるなど、経常的な収入が約1億6,500万円増加したためです。

経常収支比率が高くなるほど、新しい事業などに使える財源の確保が難しくなります。

財政健全化判断指標

釜石市はすべての指標で健全



特別会計の決算状況

一般会計とは区別し、それぞれ特定の事業を行います。

会計名	収入済額	支出済額	収支差引額
国民健康保険事業	36億6,768万円	36億4,036万円	2,732万円
後期高齢者医療事業	5億2,423万円	5億2,423万円	0万円
介護保険事業(保険事業勘定)	40億2,252万円	40億1,056万円	1,196万円
介護保険事業(サービス事業勘定)	2,828万円	2,828万円	0万円
魚市場事業	555万円	555万円	0万円
合計	82億4,826万円	82億898万円	3,928万円

企業会計の決算状況

一般会計とは区別し、独立採算により特定の事業を行います。

■水道事業

収益的収支	収入	金額
	収入	6億9,633万円
	支出	6億7,135万円
資本的収支	収入	1億2,591万円
	支出	4億4,985万円

鵜住居地区の施設再編事業の完成に向けて取り組むとともに、水道施設の適切な維持のため、老朽化した設備や管路の更新に取り組みました。また、効率かつ効果的な水道施設の管理運営に向けたアセットマネジメント計画の策定に取り組みました。

■公共下水道事業

収益的収支	収入	金額
	収入	13億5,473万円
	支出	13億5,447万円
資本的収支	収入	4億1,297万円
	支出	6億7,761万円

甲子町大畑、上平田、鵜住居町日向において管きよ整備を実施し、下水道に接続できる地区を拡張しました。また、大平処理区の汚水の流量増加に向けた機能増強工事、マンホールポンプ設備更新工事、上平田地区の汚水管の更生工事などを実施しました。

■漁業集落排水事業

収益的収支	収入	金額
	収入	5,211万円
	支出	5,154万円
資本的収支	収入	1,066万円
	支出	1,830万円

水洗化率を向上させるための活動を行うとともに、費用の節減を行いながら、施設の適切な維持管理によるライフサイクルコストの低減に取り組みました。

令和6年度

決算報告

問い合わせ
市財政課 財政係 ☎27-8416

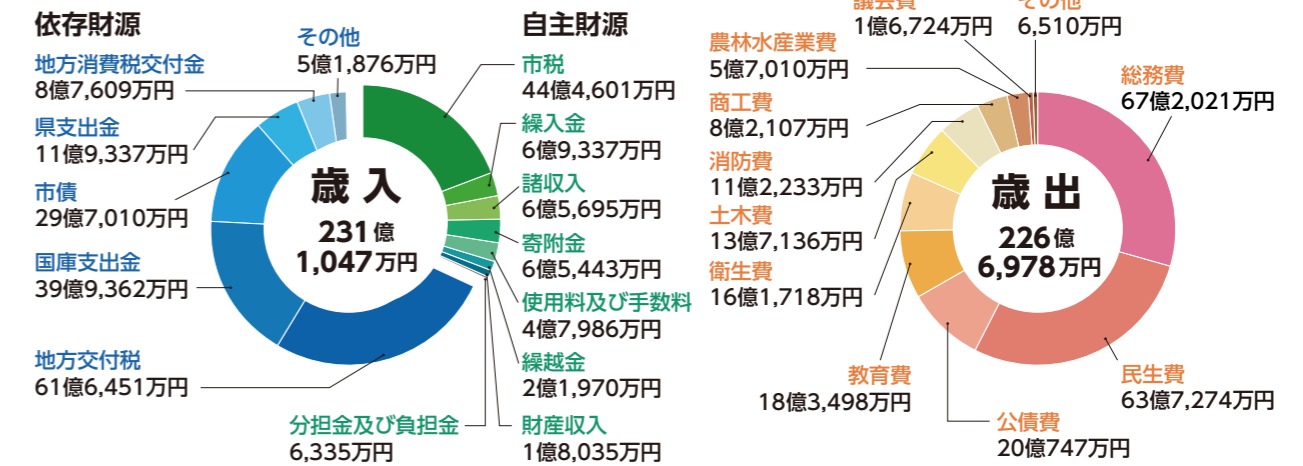
市民の皆さんが納めた税金、国・県からの補助金などが、令和6年度にどのように使われたのかお知らせします。
※ 四捨五入の関係で合計額などが合わない場合があります

一般会計の決算状況

歳入(収入)は231億1,047万円で、令和5年度から4億1,257万円減少しました。これは、国に対する震災復興特別交付税の返還に伴う財政調整基金繰入金の大幅な減少により、基金繰入金などが減少したためです。

また、歳出(支出)は226億6,978万円で令和5年度から6億3,356万円減少しました。これは、高等教育機関設置事業や旧小佐野中学校解体事業の皆減、地方債元金償還金の減額に伴うものです。

歳入と歳出の差引額4億4,069万円を令和7年度に繰り越しました。



用語解説

【歳入】▶自主財源…市が独自に収入するお金 ▶依存財源…国・県から交付されるお金。市の借入金も含まれます ▶繰越金…前年度から繰り越されたお金 ▶繰入金…基金から一般会計に移したお金 ▶国庫支出金・県支出金…特定の事業に対して国・県から配分されるお金 ▶地方交付税…国から配分されるお金。使い道を市が決められます ▶市債…市の借入金

【歳出】▶総務費…他の費目に分類されない事業の費用(人事・企画・財政・戸籍・統計・交通安全など) ▶民生費…子ども・高齢者・障がい者福祉や生活保護の費用 ▶公債費…市債(市の借入金)の返済費用 ▶教育費…学校教育、文化・スポーツ振興の費用 ▶衛生費…予防接種や検診、ごみ・屎尿処理、環境衛生の費用

令和6年度の主な事業

新庁舎建設事業(23億9,036万円)

現市庁舎の老朽化、狭あい化、分散化を解消し、住民サービスの向上、円滑な市政運営、防災拠点としての機能充足などを目的に整備する新市庁舎の建設工事を行いました。



新市庁舎イメージ

工場等取得補助金(1億6,000万円)

企業誘致による雇用の創出と産業振興のため、新規誘致企業である岩手資源循環(株)の工場建設費用の一部に対して、補助金を交付しました。

平田小学校設備等改修事業(9,045万円)

学校施設の長寿命化や児童の快適な教育環境の向上を図るため、平田小学校の校舎及び屋内運動場の各種設備の改修工事を行いました。

上小川・中小川集会所建設事業(1億2,843万円)

老朽化していた上小川地区と中小川地区の集会所施設を統合し、両町内会の活動拠点となる集会所を新たに整備しました。

子ども・子育て支援給付事業(給食費の一部無償化事業)(992万円)

多子世帯の経済的負担を軽減するため、第3子以降の児童生徒の給食費の無償化を行いました。